



戦争をさせない
1000人委員会
Anti-War Committee of 1000

信州ニュース

戦争をさせない1000人委員会・信州 2015年9月19日 第42号

〒380-0838 長野市県町 532-3 県労働会館

電話 026 (234) 2116 FAX 026 (234) 0641 E-mail vi4h-kt@asahi-net.or.jp

HP <http://sensouwasasenaishinshu.jimdo.com/>  https://twitter.com/1000_shinshu

 <https://www.facebook.com/sensousasenaishinshu>

**安全保障関連法案＝戦争法案の強行成立に怒りを込めて抗議します。
民意をまったく無視し、立憲主義・憲法9条を壊し
日本を「戦争する国」に変える「戦争法」は絶対に認められません。
「戦争法」の廃止、法律を発動させない。
戦争をさせない運動は今から始まります。**

安全保障関連法案＝戦争法案は参議院本会議で9月19日未明、与党の採決強行で可決されました。ここ数日間の国会運営は、きわめて異様でした。深夜・未明の委員会・本会議、審議の打ち切りによる委員会での強行採決など、政府・与党の異常な国会運営により戦争法案は強引に可決されました。

私たちは怒りを込めてこのような政府・与党の対応に抗議します。民意を無視し、立憲主義と憲法9条に反し、日本を米国とともに「戦争する国」へと導く「戦争法」は絶対に認められません。

この「戦争法」の問題点はもはや明白です。

第一に、戦後日本が一貫してとってきた安全保障・防衛政策、「専守防衛」政策を180度転換し、自国の防衛ではなく他国防衛により武力行使する集団的自衛権の行使が可能となったことです。さらに、米国とともに世界中のどこでも戦争・紛争に介入し、武力行使と一体化した「後方支援」活動を展開するという「戦争する国」へ日本を変えてしまう法律です。

第二に、「戦争法」は、憲法解釈を無理やり変更した違憲立法です。政府が提出した法案について、違憲か合憲かという論議がこれほど沸き起こったのはきわめて異例です。国家権力を憲法規範で縛りつけて、勝手に暴走しないようにすることが立憲主義です。憲法はこの立憲主義によって成り立っています。政府が勝手に憲法解釈を変更する行為は、法治国家を大きく逸脱する行為です。

第三に、政府・与党が国会運営で民主主義のルールを無視し、民意に反した独裁的な運営を強行した問題です。安倍首相は「多数決で決めるのが民主主義のルール」と言います。確かに国会の議席数は与党が圧倒的な多数を占めていますが、国民は選挙で政権に白紙委任したわけではありません。今回の戦争法案には6割の国民が反対し、8割の国民がこの国会での成立に反対でした。この民意を無視する政治こそ民主主義のルールからの逸脱です。民意を無視する安倍首相に「民主主義」を語る資格はありません。

私たちはあまりにも重大な問題点を抱える「戦争法」を認めません。この法律の廃止を求めて、法律を発動させないように引き続き多くの市民と一緒に運動をすすめていきます。戦争をさせない運動は、ある意味、いま始まったばかりです。

私たちの子や孫に平和な日本を引き継いでいくためにも、戦争に反対し、憲法9条と民主主義を守る運動を粘り強くすすめていきます。



▲長野駅前では19日13時から約100人が抗議集会

2015年9月19日

戦争をさせない1000人委員会・信州

私たちも「戦争法」の強行成立に強く抗議します

「戦争をさせない1000人委員会・信州」呼びかけ人

2015年9月19日現在（162人／五十音順／敬称略）

愛敬浩二（名古屋大学教授／元信州大学助教授）、青井未帆（学習院大学教授／元信州大学准教授）、赤尾義道（真慶寺住職）、縣孝二（設計室「空」代表）、安藤真后（平和の種をまく会所属）、石川文洋（報道写真家）、石坂美知子（元村議会議員）、一由貴史（弁護士）、井出正一（長野県日中友好協会会長）、井出孫六（作家）、伊藤勇夫（ストップ秘密法・壊憲信州ML管理人会）、稲垣一良（長野県ニューギニア会顧問）、井上英実（真宗大谷派僧侶）、伊波敏男（信州沖縄塾塾長）、今井秀臣（伊南日中友好協会副会長）、今村真直（南信州文化財の会名誉会員）、色平哲郎（佐久総合病院医師）、岩崎功（弁護士）、岩下智太郎（弁護士）、岩波昭賢（長久寺前住職）、鶴飼照喜（信州大学名誉教授）、牛越充（元信濃教育会会長）、牛山秀樹（弁護士）、内坂徹（医師）、内山二郎（フリージャーナリスト）、大杉至（牧師）、大谷公人（教員）、岡庭一雄（前阿智村長）、長田雄介（弁護士）、小野鉄二郎（映像プロデューサー）、小原勇（元県議会議員）、表秀孝（長野大学名誉教授）、織英子（弁護士）、春日輝海（元高等学校校長）、片桐みどり（主婦）、桂木恵（歴史研究者）、門屋和子（ハンセン病問題に関わる長野県民の会代表）、金井奈津子（フリーライター）、鎌田實（医師）、神澤國子（元長野県母子寡婦福祉連合会会長）、上條剛（弁護士）、神谷さだ子（日本チェルノブイリ連帯基金事務局長）、河原進（満蒙開拓平和記念館館長）、川村龍洲（書家）、木島知草（人形劇がらくた座主宰）、北川和彦（弁護士）、北澤一伯（美術家）、窪島誠一郎（作家）、熊谷加舟（中国帰国者等の為の介護・福祉の会ニイハオ理事長）、合木こずえ（映画コラムニスト）、小池さやか（弁護士）、小岩井孝（日本映像学会会員）、神津武士（第二代佐久市長）、小林正（弁護士）、小林信康（会社役員）、小原宏（弁護士）、五味正明（弁護士）、齋藤俊江（満州移民を考える会）、斎藤洋一（歴史研究者）、坂井昇（農業）、酒井春人（龍鳳書房代表）、坂田雅子（映画監督）、坂巻隆男（医師）、桜井佐七（憲法9条を守る県民過半数署名をすすめる会呼びかけ人）、佐々木都（うすだ憲法9条の会副会長）、佐藤豊（弁護士／元日弁連副会長）、佐藤芳嗣（弁護士）、澤山孟彦（社会福祉法人りんどろ信濃会理事長）、塩入隆（長野県短期大学名誉教授）、塩原俊（自然保護運動家）、清水えい子（長野県日中友好協会副会長）、清水智弥（弁護士）、下嶋哲朗（ノンフィクション作家）、下平秀弘（弁護士）、新海寛（信州大学名誉教授／朝陽地区憲法9条守る会代表呼びかけ人）、諏訪雅頭（弁護士）、関佐紀子（新婦人の会）、相馬弘昭（弁護士）、曾我逸郎（中川村長）、高橋卓志（神宮寺住職）、高野登（人とホスピタリティ研究所代表）、瀧澤和子（日本婦人有権者同盟松本支部長）、滝澤修一（弁護士）、瀧塚照子（元東信病院院長夫人）、竹内永浩（弁護士／元長野県弁護士会会長）、竹迫祐子（安曇野ちひろ美術館副館長）、武田幸作（福祉団体職員）、武田芳彦（弁護士）、田中欣一（日本思想史家）、茅野富佐子（会社役員）、茅野實（長野県環境保全協会顧問）、チャーリー宮本（ミュージシャン）、寺沢尚武（塩尻市遺族会連合会会長）、常盤井智行（明徳寺住職）、内藤英昭（長桂寺住職）、中村美紀（自営業）、中村美穂子（主婦）、中村童子（女性問題研究家）、永田恒治（弁護士）、中谷富美子（会社役員）、中西智教（恵明寺住職）、成澤孝人（信州大学教授）、新村明憲（見宗寺住職）、仁科良幸（会社役員）、西村佳壽子（元町議）、西村忠彦（きけわだつみのこえ70年の会代表）、二瓶裕史（行政書士）、野澤喜代（フリーディレクター）、羽田綏子（主婦）、狭間壮（声楽家）、羽場紀子（主婦）、早出由男（弁護士）、原田美登（県ベトナム交流協会理事長）、原富男（チェルノブイリ救援中部理事長）、原正治（弁護士）、東栄蔵（文芸評論家）、樋口至宏（フリー編集者）、平出澄栄（信濃エンパワーメント太陽の会代表）、福島昭子（みんなの学校inまつもと企画委員長）、藤井俊道（長性院住職）、藤瀬恭子（ちの男女共生ネット代表／諏訪東京理科大学嘱託教授）、星野和彦（演出・プロデューサー）、細川順子（ながの自分史コアセンター主宰）、堀内壽郎（百姓）、堀米美聡（弁護士）、又坂常人（信州大学特任教授）、町田清（弁護士）、松嶋澄雄（定専寺住職／長野県念仏者九条の会事務局長）、松村寛（元南箕輪村長）、松本猛（美術・絵本評論家／ちひろ美術館常任顧問）、三沢健直（合同会社三沢介護院代表社長）、峯岸八戒（俳人）、三村仁志（社会福祉士）、宮崎小里（元男女共同参画推進団体代表）、宮澤節子（子ども・子育て支援市民活動家）、宮下将吾（弁護士）、宮地良彦（信州大学名誉教授）、宮本民子（チャクラムーン主催）、向山敦子（満州移民を考える会）、村上範明（信州大学名誉教授）、村山智彦（長野県憲法擁護連合代表委員）、毛利正道（弁護士）、茂木祐司（御代田町長）、百瀬智（日独市民交流ネットワーク代表）、両角達文（弁護士）、柳川眞澄（僧侶／善福寺住職）、柳谷知之（牧師）、矢野要子（子ども・子育て支援市民活動家）、山上友浩（有限会社・花の銀杏園代表取締役）、山岸綾子（信州生活者ネットワークながの代表）、山田直哉（弁護士）、山崎泰正（弁護士／長野県憲法会議事務局長）、山下久枝（下久堅九条の会）、横田幸子（牧師）、横田雄一（弁護士／人権センターながの理事）、横山タカ子（料理研究家）、吉澤康道（長春寺住職）、李春浩（信州渡来人くらぶ世話人）、若麻績敏隆（白蓮坊住職／画家）、和田清二（弁護士）、和田登（児童文学作家）、渡部和綱（玄正寺住職）